

《News》

お知らせ!

五十石込遺跡現地説明会を開催

今号の見聞き特集でもご紹介した、成田市南三里塚に所在する五十石込遺跡において、成田市教育委員会主催による現地説明会が行われました。

交通の便が不便なところであるにもかかわらず、熱心な考古学ファンが大勢訪れ、保存状況のよい大規模な掘込跡に驚きながら解説員の説明に真剣に耳を傾けていました。



五十石込跡現地説明会

井野長割遺跡で縄文時代の盛土遺構を発見

佐倉市井野長割遺跡において縄文時代後・晩期の大規模な盛土遺構や斜面を埋め立てた痕跡が発見されました。特に埋め立ての痕跡は大規模なもので、全国的に見ても類例は少ないようです。



井野長割遺跡調査風景



井野長割遺跡盛土遺構

《ご案内》

考古資料展示室平成12年度企画展「龍角寺五斗時瓦窯跡出土遺物展」

7世紀後半の創建といわれている古代寺院・龍角寺の屋根を葺くための瓦を焼いた龍角寺五斗時瓦窯跡の貴重な資料の展示を行っています。大量に検出された文字瓦は東日本最古の文字資料としてだけでなく当時の古代寺院造営に関わる様相を物語ってくれます。ぜひご来場ください。

平成13年7月6日まで 9:00～16:30
土日祝閉館 入場無料

《発掘中の遺跡》

4～6月の予定

成田市

台方下平Ⅱ遺跡(古墳・奈良・平安時代)

佐倉市

宮内井戸作遺跡(縄文時代)

井野長割遺跡他(縄文時代)

臼井田宿内岩跡(中・近世)

鍋山西ノ切遺跡(古墳時代)

六崎外出遺跡第6次(縄文時代・古墳時代)

臼井屋敷跡(弥生時代・中世)

富里町

獅子穴X遺跡(古墳時代)

向台遺跡(古墳時代)

本埜村

龍腹寺裏遺跡(旧石器～縄文時代)

《室内作業》

本部

佐倉市鍋木町198-3 ☎043-484-0126

権現堂遺跡(四街道市 弥生～中世)

南作遺跡(四街道市 縄文～奈良・平安時代)

浮矢遺跡I(四街道市 奈良・平安時代)

四街道市内出土遺物整理(四街道市)

城山ノ作遺跡(佐倉市 縄文時代)

城次郎丸遺跡第4次他(佐倉市 弥生時代他)

成田事務所

成田市飯仲字台畑330-1 ☎0476-26-7208

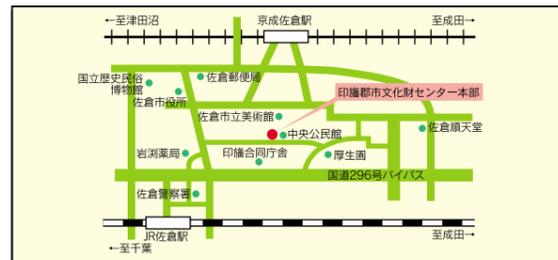
郷野遺跡(四街道市 弥生～中世)

印西市内出土遺物整理(印西市)

《おしらせ》

上記の発掘現場、室内作業は見学できます。ご期待に添えない場合もありますので、かならず、事前にご連絡ください。詳細は本部へお問い合わせを!

本誌は平成13年度から、年3回の発行に変わります。その分内容をより充実させてお届けしたいと思ひます。皆様のご期待に添えますようご意見・ご要望をお聞かせください。第9号は6月発行の予定です。



平成13年4月15日 043(485)9871 043(484)0126(代) 千葉県佐倉市鍋木町198-3 ☎043-484-0126 発行・編集 フィールドブック vol.8



印旛都市文化財センター ホームページ開設

http://www.inba.or.jp (iモード http://www.inba.or.jp/i/)



いせきQ&A



埋文データ

印旛都市文化財センターでは、平成13年4月から公式ホームページを開設いたしました。考古学の世界でも「高度情報化時代」へと流れていく中で、専門家ばかりではなく、広く一般の方々にも当センターの仕事内容や考古学に関する知識などの情報を手軽に知っていただきたいという主旨から始めたものです。

ホームページの中では、印旛都市文化財センターの目的や活動内容、イベント情報、当センター発行の報告書の内容、広報誌「フィールドブック」のバックナンバーばかりではなく、当センターオリジナルキャラクター・ムササビ博士といんば君が案内する遺跡Q&Aや印旛都市内の主要な遺跡の紹介などなど小中学生から専門家まで楽しめる盛りだくさんの内容でお届けしてゆきます。

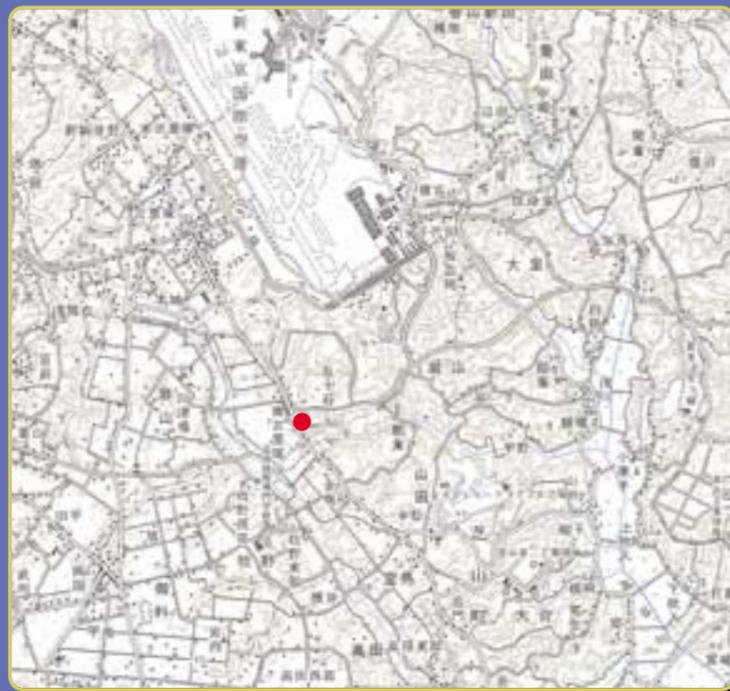
みなさんも気軽にアクセスしてください。

成田市南三里塚五十石込遺跡

ごじゅうごくごめ



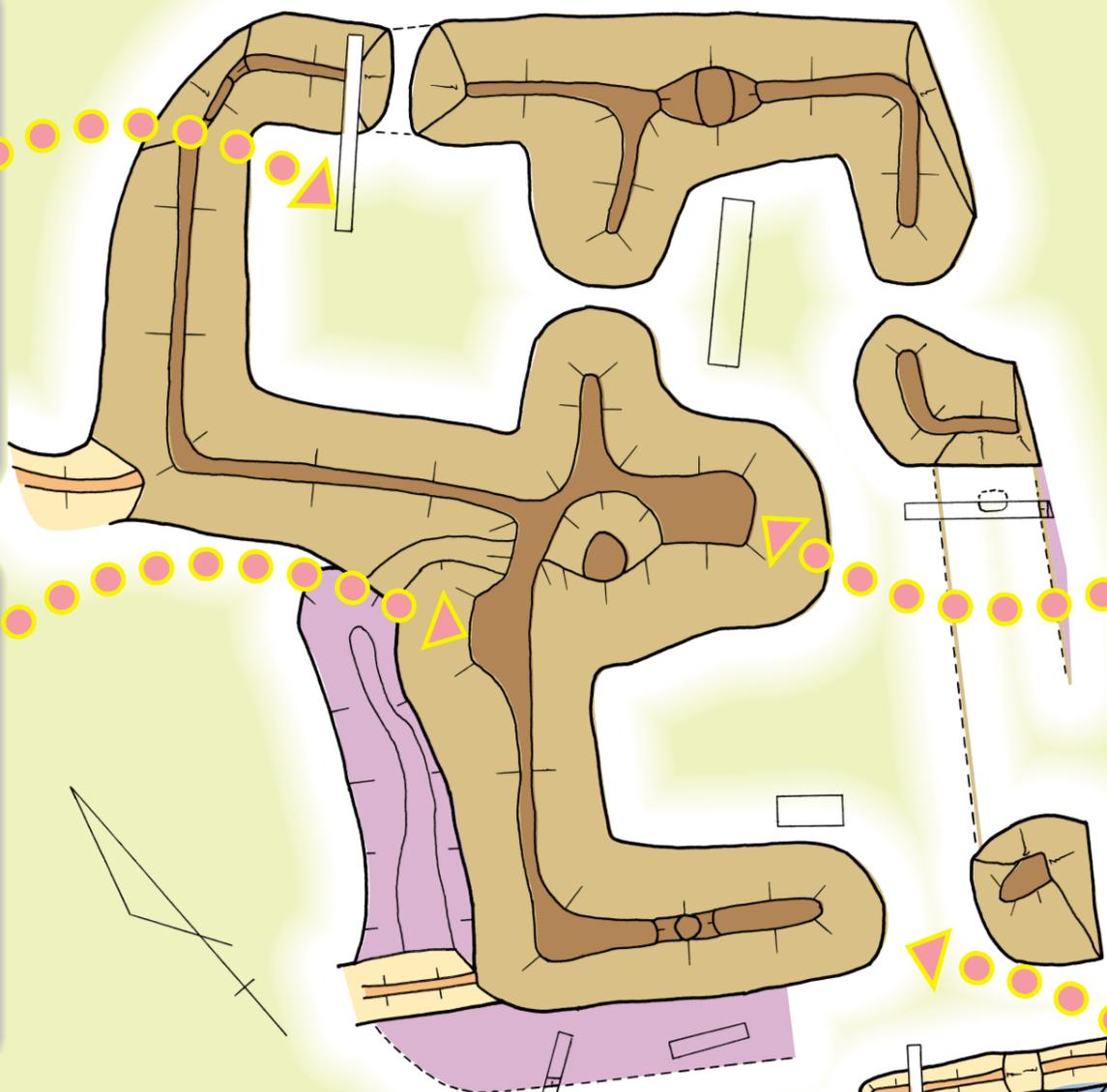
成田市南三里塚五十石込遺跡の位置と周辺の地形



第1トレンチ



野馬役?



馬検仮小屋?



野馬捕込入口

五十石込遺跡は、成田市の南端部に位置し、山武郡芝山町との境界部分にあります。ここは、近世（江戸時代）の取香牧にある野馬捕込場の跡で、牧内に放し飼いであった野馬を年に1度集めて、幕府への献上や民間への払い下げる馬を選別し、また新馬を把握し牧内にいる野馬の管理のための焼印を押したりする場所でした。

今回の調査は学術調査であり、遺跡の整備及び地形図作成を主な目的とし、併せて、捕込跡の土手部分の一部と捕込跡の内外にトレンチを設定し

て行う確認調査を実施しました。発掘調査は、平成13年1月9日から3月23日まで実施しました。

調査の結果、この野馬捕込は4室（4つの部屋）に区切られていて、野馬を追い込んだ場所や選別した場所など、それぞれの室（部屋）に役割があることがうかがえます。また、当時の人たちが忘れていった茶碗の欠けらなども出土しており、見物人が大勢集まったとも考えられます。

今後、隣接地の調査とともに整理作業も計画されており、その成果が期待されます。

S = 1/400